

平成 24 年 4 月 19 日

各 位

会社名 モーニングスター株式会社
 (コード番号 4765)
 (上場取引所 大阪証券取引所 JASDAQ)
 代表者 代表取締役 COO 朝倉 智也
 開示責任者 取締役 CFO 小川 和久

「Gomez IR サイトランキング 2012」の発表について
 ～多彩なコンテンツを駆使したTDKサイトが初の総合第1位に輝く～

中立的な第三者としての立場から投資信託、株価情報ほか各種金融商品、および E コマースや各種ウェブサイト
 の客観的な評価・比較を行うモーニングスター株式会社（以下、モーニングスター）は本日、「Gomez IR
 サイトランキング 2012」を Gomez のウェブサイト (<http://www.gomez.co.jp/>) 上で発表しました。

この調査は毎年、国内の上場企業が提供する株主・投資家向け広報 (IR) サイトの使いやすさや情報の充実
 度を評価することを目的として行っており、今回で 6 回目の発表となります。「ウェブサイトの使いやすさ」「財
 務・決算情報の充実度」「企業・経営情報の充実度」「情報開示の積極性・先進性」の 4 つの切り口から、投資
 家の視点に基づいて設定した 292 の調査項目によりモーニングスターのアナリストが評価を行い、総合的に優
 れた IR サイトのランキングを決定します。

「Gomez IR サイトランキング 2012」上位 10 社は、以下のようになりました。

順位	得点	会社名	前回※
1 位	8.61	TDK	21 位
2 位	8.59	カプコン	1 位
2 位	8.59	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	1 位
4 位	8.51	ソフトバンク	1 位
5 位	8.41	ミネベア	7 位
6 位	8.24	富士フイルムホールディングス	5 位
7 位	8.23	東京瓦斯	6 位
8 位	8.22	東芝	4 位
9 位	8.08	日本電気	10 位
10 位	8.01	三菱商事	20 位

※ 「Gomez IR サイトランキング 2011」(2011 年 4 月 20 日発表)

※ 11 位以下のサイトについては、Gomez のウェブサイトをご覧ください。

また、新興市場 (JASDAQ、マザーズなど) 上場企業を対象にした「新興市場 IR サイトランキング 2012」
 上位 5 社は、以下のようになりました。

順位	得点	会社名	前回※
1 位	6.65	フィールズ (JQ)	5 位
2 位	6.46	ジュピターテレコム (JQ)	1 位
3 位	6.38	ハーモニック・ドライブ・システムズ (JQ)	対象外
4 位	6.31	エムティーアイ (JQ)	1 位
5 位	6.03	サイバーエージェント (マザーズ)	4 位

※ 「Gomez 新興市場 IR サイトランキング 2011」(2011 年 4 月 20 日発表)、JQ: JASDAQ の略

ランキング上位企業の評価理由

総合第1位は、世界的な電子部品メーカーであるTDKがその栄冠に輝きました。さまざまなディスクロージャ資料の掲載に加え、オンラインアニュアルレポートにより一年間の経営状況を参照しやすくし、ビジュアルを活用した個人投資家向け情報によりどのような会社なのかをわかりやすく解説しています。IRトップページから各種情報への誘導も的確です。わかりやすさや参照のしやすさという側面からも配慮されたコンテンツ面の取り組みがきわめて高い評価になっています。

総合第2位は、同点でカプコンとエヌ・ティ・ティ・ドコモの2社となりました。

以前から斬新な取り組みに定評があるカプコンIRサイトでは、ソーシャルメディアを活用した情報提供への取り組みが注目されます。TwitterやFacebook、Youtube、USTREAM、さらにはFlickrなど、多彩なチャンネルを用意し、積極的な展開を見せ始めています。ビジュアル等を活用して直感的な理解を促すわかりやすいコンテンツづくりもさらに磨きがかかり、高評価を維持し続けています。

国内携帯電話キャリア最大手、エヌ・ティ・ティ・ドコモは、決算説明会をはじめとするさまざまなIRイベント情報の開示に加え、事業指標や業績ハイライト、株主通信や決算説明会資料など、PDFだけでなくHTMLでも参照できる充実したコンテンツが引き続き高い評価を得ています。そして今回、アニュアルレポートの完全HTML化(ウェブ化)を実現し、今まで以上に多彩な情報にスムーズにアクセスできるようになっています。

総評とIRサイトのトレンド

■「IRサイト優秀企業」は140社、受賞企業数は過去最高に

「IRサイトランキング2012」の総調査対象サイトは3,535社となり、前回調査よりも79社の減少となっています。その一方、総合得点6.00点以上に贈られる「IRサイト優秀企業」は140社(そのうち新興市場上場企業は5社)となりました。これは前回調査より17社の増加となり、過去最高の受賞数となっています。

■上位企業サイトはコンテンツの多様化が進む一方、サイト改修は一段落

上位200社の総合得点平均は6.48点となり、前回より0.13点の上昇となりました。内訳を見ると、「財務・決算情報の充実度」が6.32点、「企業・経営情報の充実度」が6.09点で、それぞれ前回比で0.20点以上の上昇となりました。他方、「ウェブサイトの使いやすさ」は7.37点となり、調査開始以来はじめて減少(0.02点減)に転じました。多様化するコンテンツや増え続ける情報量に対して、サイトの使いやすさが追いついていないことが伺えます。

■離陸の兆しを見せ始めたオンラインレポートとソーシャルメディア対応

今回は20以上のサイトがアニュアルレポートのオンライン化(ダイジェスト版含む)を実施しました。従来は専らPDFでの提供でしたが、このオンライン化により、今までよりもスムーズにさまざまな経営情報にアクセスできるようになることが期待されます。

また、ソーシャルメディア利用の拡大を見込んだ対応も進んでいます。たとえばニュースや新着情報ページにソーシャルプラグインを取り入れて情報の共有・拡散をしやすくしたウェブサイト数は対前回比で4倍近く増加しています。IR専用のソーシャルメディア・アカウントを設けて情報提供を開始する企業も出始め、今後の動向が注目されます。

トピックス (1) 2011年調査から改善著しい企業

今回も IR サイトのリニューアルや、情報・機能の追加により、ウェブ IR を強化する企業が数多くみられました。その中でも、とくに大きくスコアを伸ばした企業（2011年調査時よりスコアを大きく伸ばした企業、および、前回ランキング調査対象外から大きくスコアを伸ばして今回ノミネート入りした企業）を選出しました。

■前回調査からスコアを大きく伸ばした企業

前回比	得点	会社名
+2.44	6.06	ドクターシーラボ
+1.80	6.31	日本ハム
+1.68	7.11	ユナイテッドアローズ
+1.67	6.20	宇部興産
+1.56	7.05	大阪瓦斯
+1.56	7.05	常和ホールディングス
+1.55	6.32	川崎汽船
+1.50	5.63	住友重機械工業
+1.41	4.67	トーメンエレクトロニクス
+1.36	5.15	タカラトミー

■前回調査対象外から新規ノミネートした企業

前回	得点	会社名
対象外	6.76	古河スカイ
対象外	6.38	ハーモニック・ドライブ・システムズ
対象外	6.03	第一生命保険
対象外	6.03	太陽誘電
対象外	5.87	セブテーニ・ホールディングス
対象外	5.77	明光ネットワークジャパン
対象外	5.51	ポーラ・オルビスホールディングス
対象外	5.47	総合メディカル
対象外	5.42	イオンモール
対象外	5.42	阪急阪神ホールディングス

トピックス (2) 業種別ランキング第1位企業

業種	得点	会社名
水産・農林業	6.77	日本水産
鉱業	6.83	国際石油開発帝石
建設業※	5.42	大和ハウス工業
食料品	7.85	キリンホールディングス
繊維製品	7.36	帝人
パルプ・紙	5.06	日本製紙グループ本社
化学	8.24	富士フイルムホールディングス
医薬品	7.41	アステラス製薬
石油・石炭製品	7.32	J Xホールディングス
ゴム製品※	5.97	横浜ゴム
ガラス・土石製品	6.50	日本板硝子
鉄鋼	5.90	住友金属工業
非鉄金属※	6.76	古河スカイ
金属製品	5.65	住生活グループ
機械※	7.26	三菱重工業
電気機器※	8.61	T D K
輸送用機器	7.77	富士重工業

業種	得点	会社名
精密機器※	7.05	トプコン/ニコン
その他製品	6.75	バンダイナムコホールディングス
電気・ガス業	8.23	東京瓦斯
陸運業	7.13	ヤマトホールディングス
海運業	7.25	日本郵船
空運業	5.38	全日本空輸
倉庫・運輸関連業※	5.38	郵船ロジスティクス
情報・通信業	8.59	カブコン/ エヌ・ティ・ティ・ドコモ
卸売業※	8.01	三菱商事
小売業	7.51	ファーストリテイリング
銀行業	7.73	三菱UFJフィナンシャル・グループ
証券・商品先物取引業※	6.92	野村ホールディングス/ S B Iホールディングス
保険業	7.49	東京海上ホールディングス
その他金融業	6.52	プロミス
不動産業	7.15	エヌ・ティ・ティ都市開発
サービス業	7.91	ベネッセホールディングス

※前回調査から第1位企業の変更があった業種

ご参考：調査概要

- ・ 調査期間：2011年11月1日～2012年3月26日まで
(※ランキングデータは、2012年3月26日までのものを反映)
- ・ 調査対象：2012年3月時点の国内証券取引所上場企業 3,535 社
(※整理ポスト企業、および2011年4月以降のIPO企業はノミネートから除外)
- ・ 調査範囲：IR情報、ならびに会社情報やCSR情報が掲載されたページを調査
(※採用サイト、商用サイト、製品・ブランドサイト等は、評価範囲から除外)
- ・ 調査手順：
 - (1) 上記の調査対象企業について、30項目の予備調査を行い、一定基準を満たす企業を最終調査にノミネート（2012年調査では650社がノミネート）。
 - (2) 最終ノミネート企業を292の調査項目からなるスコアカードに基づいて、モーニングスターのアナリストが実際にウェブサイトを使用しながら調査を行い、総合ランキングを決定。総合得点4.00以上の企業をGomezランキングサイトに掲載（2012年調査では594社が該当）。
 - (3) 総合得点6.00以上をIRサイト優秀企業として選定（2012年調査では140社が該当）。

ご参考：評価カテゴリの名称と評価内容

カテゴリ名称	評価内容
ウェブサイトの使いやすさ	IR情報を提供するウェブサイト全体のユーザビリティを評価するカテゴリです。情報の見つけやすさや各コンテンツの見やすさ・使いやすさ、ウェブ・アクセシビリティ基準への対応状況等を総合的に評価します。
財務・決算情報の充実度	財務や決算に関する情報量を評価するカテゴリです。ウェブサイト上に掲載されたディスクロージャ資料や説明会情報など、主に業績を中心とする定量的な情報の充実度を総合的に評価します。
企業・経営情報の充実度	会社や事業に関する情報量について評価するカテゴリです。事業や経営戦略、コーポレートガバナンスと株主総会、CSRなど、企業に関する定性的な情報の充実度を総合的に評価します。
情報開示の積極性・先進性	基本情報の一歩先を進んだ情報開示を評価するカテゴリです。個人投資家向け情報や事業トピックスなどのコンテンツ面、メール配信やストーリーミング、ソーシャルメディア対応などの機能面の両面から評価します。

Gomez について

Gomez は、インターネット上で提供されるサービスを中立的な立場から評価・分析し、

- ・ インターネット利用者の利便性向上
- ・ E コマース市場などの拡大に貢献するための情報提供
- ・ 企業向けのアドバイス

を目的とし、消費者・企業双方に対して利益となる情報を掲載しています。

Gomez は、モーニングスター株式会社ゴメズ・コンサルティング事業部により運営されています。

本件に関するお問い合わせ

モーニングスター株式会社 ゴメズ・コンサルティング事業部 篠田

電話：03-6229-0810 FAX：03-3589-7963 Eメール：gomez-info@morningstar.co.jp